

# 半田市教育委員会と知教労との話し合いのまとめ

令和4年10月4日(火) 16:00~17:10

参加者 半田市: 鈴川教育長、森田学校教育部長、鈴木指導主事、渡辺学校教育課長

知教労: 岩澤、岡田、中沢

【委】=半田市教育委員会、【組】=知教労

## 1 改正「給特法」に基づく、勤務時間の上限に関する指針の遵守について

### (1) 勤務時間上限の遵守

【組】超過勤務上限(年360時間、月45時間を超えない)の達成状況は。

【委】H3年度、年360時間以内が達成できた教員は、小学校36.2%、中学校31.5%。月45時間を3ヶ月連続で超えていない教員小学校53.2%、中学校45.3%であった。(正規教員・育休補充含み、非常勤含まない数字)

【組】数字的には高いと感じるが、校務分掌をもつ講師と正規教員だけで計算すると、いろいろな仕事を分担している分数字が下がるのでは。

【委】働き方別では集計していない。

【組】フルで働く教員の仕事量が減るよう、働き方改革を進めて欲しい。また、突出して超過時間が多い教員には対処が必要。

【委】半田市はクラウド型勤怠管理システムを導入していて、4役が管理者権限をもち、いつでも超過時間の集計が確認できる。4役には、こまめに見て声かけするようお願いはしている。

【組】ある程度規制を掛けることも必要と感じる。

【委】7月に半田市全校午後授業カットの期間を設けた。集計を見て、効果があったと感じる。今後、学期末ごとに1週間程度取り入れたい。

【組】業務量が多い学期末には有効。全市町に広まるとよい。

【委】学期末少し前の、成績処理等で多忙化する時期が良いという意見もあるので、時期は考えたい。

### (2) 勤務時間の正確な把握

【組】勤務時間の記録を(情報公開で)見たところ、休憩時間が取れたという集計になっているようだが。

【委】現システムは休憩を取ったことを前提で計算している。取れなかった場合は申請すれば修正できる。

【組】職員が「休憩が取れなかったと自覚」し「申請」し「計上」という3つの段階を踏まないと正確なものにならない。が、大多数の教員はやっていないと思われる。(すると、先の超過時間の集計も変わってくる。)記録は正確に行われなくてはならない、とされているため、システムの修正が必要。他市町で使っている「C4th」では休憩が取れたか確認するボタンがある。ソフト上の変更で対応できるのでは。管理側の責任としてやって

欲しい。

また、管理職(校長、教頭)に、教員の勤務の管理をする仕事があることを指導(教育)して欲しい。

【委】検討する。

【組】産業医にかかった人は。

【委】昨年1名。今年度は0。

【組】武豊町のように 長時間超過勤務者は教育委員会が指名して産業医にかからせる、という取り組みをやって貰いたい。

労働安全衛生委員会もしっかり開き会議の内容が有効に生かされるように指導してほしい。

【委】半中、乙中だけといていたが、それは違うと指導し、全小中学校でやって欲しいと伝えてある。現在は上半期の衛生委員会の内容を集計しているところ。

### (3) 業務量の縮減・管理

H5年度からの地域部活動への移行

【組】半田市は過去の地域スポーツクラブの経験を生かして知多半島内で1番うまくいくのでは。計画の現状は。

【委】まずは、土日の部活はやらない、平日は残すという形で調整中。運動部、文化部の受け入れ人数、指導者の確保の問題、地域格差、教員の兼業をどうするかなどを考え、学校教育課、生涯学習課で検討中。議会の文教厚生委員会の中でもこの件をテーマに話し合いをもっている。視察、アンケートの実施なども計画に上がっている。

【組】教員の働き方改革を元に出てきた案。子ども、保護者の要求に目を向けると、財政的な破綻につながりかねない。知教協の課題でもあると思われるが、教員が勤務校で指導をするのを禁止すれば、勤務と部活指導が切り離され、労働時間のカウントもわかりやすくなる。他県でも、議論され始めている。

【委】半田市は「土日の学校部活はやらない」ことを早い段階で宣言して地域に任せるとする。半田市の地域振興という観点で、計画を進めたい。また、「やりたくない先生はやらなくて良い」とすると、教師としてのやる気を疑うような誤解を生むため、「教師は部活はやらない」を基本スタンスで取り組む。

学校訪問のあり方

【組】学校訪問の点検項目は九つある。均等に見るなら、授業を見ることばかりに時間を使いすぎ。働き方改革の取り組みを点検したり、個々の教員の質問に答えたりするような学校訪問でも良いのでは。

〔委〕(授業以外の部分も)見てきているつもりではある。

【組】指導案もA4 1枚でもいいのでは。昨年市内で2校。これを推奨して欲しい。また、指導案提出は当日の朝でも良いのではないかと。教科によっては、1ヶ月先の計画は難しい。

〔委〕昔のように製本する必要はない。しかし、1週間前ぐらいには指導案を見たい。(将来的に)タブレットで見るという方法に変わると良いと考えている。

【組】訪問を受ける側の考えも変わるとよい。いまだに(知多管内で)接待計画を作り、各種飲み物を出しているところがある。接待を受ける側がそんな時代ではないことを言えば、学校側も側も気づいて変わる。

〔委〕半田市内では過剰接待はない。感染防止の観点から、朝にペットボトル1本渡してきたところがある。それでいい。

#### 任意団体への出張中止

【組】任意団体が作成している副教材類の編集のために、県費を使い教師を出張させないで欲しい。特に若あゆ日記は、係の教師が押しが作品を選定し、10人以上の委員が授業を補欠にして年3回1日かけて編集作業を行っている。作る側が、まず変えるべきだが、教育委員会も校長に貴重な先生を使うなど指導して欲しい。編集すれば買わなければならないという動きにもつながる。やめれば公費負担も減る。また、大きな「働き方改革」につながる。

〔委〕各冊子の教育現場での価値はあるが、やり方は考えていく必要があると考える。

#### 教員未配置

【組】大きな市であるため、最大10名ほどの未配置が出ているという情報もあるが現状はどうか。

〔委〕非常勤の方に来て貰っているが、いまだ4校ほど埋まっていない。苦慮している。

【組】他市町では、校務、教務、さらに教頭が担任しているところもあるが。

〔委〕近い状況の学校もある。人がいないところを他の教員で分担し合っている。働き方改革とは逆行している。

【組】教育委員会やセンターに優秀な先生がいる。その先生を現場に戻すというのも一つの方法ではないかと提案する。

#### 再任用ハーフ二人で学級担任とする配置

【組】再任用ハーフが二人で担任している学級はあるか。

〔委〕去年はあったが、たいへんだった。今年は、校務と再任用ハーフで特別支援クラスを担当しているところがある。

【組】これ以上広がらないようにして欲しい。

#### (4) 特定事業主行動計画

【組】法改定があり、特定事業主は福利厚生を強めねばならないという基準が明確にされている。教員は除外されていたが、国レベルで、「それはあり得ない。」と確認された。その基準でいうと、教員も月の残業は20時間までとなり、今より厳しいレベルとなる。すぐに対応は難しいと思うが、内容を周知して対応をして欲しい。

#### 2 人権尊重の推進 ジェンダー差別解消の観点から制服

【組】半田市は制服変更に先陣を切っているが、子どもの意見は反映されているか。

〔委〕デザインは生徒会サミットで意見を出し、生徒のアンケートで決定するという流れであった。

【組】ジェンダーの視点の議論はあったか。

〔委〕詰め襟・セーラー・ブレザー2種類からどれを選ぶのも自由という形で進んでいる。もっといいものがあれば検討するつもり。なるべく選択肢を広げられるようにしたい。

【組】よく考えられている。他市町も、半田モデルのような形で広まると良い。

#### 男女混合名簿

【組】近隣の県と比較しても、愛知県は男女混合名簿の割合が低い。導入すべき時期に来ている。

〔委〕R2年から準備し、今年度から市内すべての学校で男女混合名簿になっている。

#### 3 その他 労働条件・教育環境

##### (1) 異動者へ前年度末での情報伝達、懇談

【組】異動先で校務分担を4月に初めて聞くのは、混乱もあり不都合もある。教務、校務がやっている事前打ち合わせをすべての異動者でやって欲しい。県内他地区でやっているところもある。また、異動して教務、校務の仕事に任されるのは負担が大きいから、職員の中から選ぶという方法ではどうか。

〔委〕教務、校務の人事についてはすぐに答えられない。諸事情抱える方は増えているから、異動者の声を聞く機会を設けるのは良いことと思う。確実に設定できるか、声を聞いて希望が叶えられるかは別だが。

##### (2) エアコンの設置

【組】特別教室等へのエアコン設置計画は。

〔委〕改修する学校のもの移動するなどとして、設置できそうだが、まだ調整中。

【組】体育館への設置は大変だが、避難所になる場所なので、災害対策として設置するなら補助金も出るので、こちらも早急に進めて欲しい。

以上